

美術史・文化遺産実習2A－I

科目ナンバリング FAH-207
選択必修 2単位

鎌田 純子

1. 授業の概要(ねらい)

日本の古美術品やそれに関係する史資料に直接触れ、そこから様々な情報を読み取る訓練をおこなう。まずは、美術資料の正しい取り扱い方を習得する。その上で、各々の美術資料から必要な情報(材質、技法、箱書きや作品に記されている内容、製作者の情報など)を読み取り、それらを分析して、作品解説する方法を身につける。そのため、簡単なくずし字を読むスキルも必要となる。さらに、作品を文章で描写する、ディスクリプションの方法も学修する。また可能であれば、展覧会見学会を行い、実作品を観察して自ら何かを発見する経験を大切にしたい。春期は、古美術品の基本的な取り扱い、江戸時代の絵本をテキストにして仮名のくずし字を読む訓練、ディスクリプションの実践をおこなう。

2. 授業の到達目標

美術作品の基本的な取り扱いができ、簡単なくずし字が読めるようになること、作品のディスクリプションの経験をもつこと。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(出席態度、授業内の課題)(60%)と試験(40%)によって評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

笠間影印叢刊行会 字典かな 笠間書院

5. 準備学修の内容

授業で学んだくずし字の復習をすること。

6. その他履修上の注意事項

可能であれば、授業時間外に、美術館への展覧会見学や外部の博物館へ作品調査に行くことがあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス 授業の内容と進め方の説明
- 【第2回】 日本の古美術品の特質(講義)
- 【第3回】 古美術品の観察と材質、取り扱い方法
- 【第4回】 古美術品の取扱い①掛軸
- 【第5回】 古美術品の取扱い②茶道具
- 【第6回】 作品を言葉で描写する ディスクリプション①
- 【第7回】 作品を言葉で描写する ディスクリプション②
- 【第8回】 くずし字の基礎
- 【第9回】 くずし字にふれる
- 【第10回】 江戸の絵本を読む①
- 【第11回】 江戸の絵本を読む②
- 【第12回】 江戸の絵本を読む③
- 【第13回】 江戸の絵本を読む④
- 【第14回】 美術資料の修復について
- 【第15回】 学期末試験